


観測施設情報

施設名	森林総合研究所 山城水文試験地	
施設写真	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> (a) (b) (c) </div>	
施設情報	所属先	森林総合研究所関西支所
	施設所在地	〒619-0201 京都府木津川市山城町(試験地) 〒612-0855 京都市伏見区桃山町永井久太郎 68 番地(森林総合研究所関西支所)
	TEL	075-611-1201(関西支所代表)
	URL	http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/flux/YMS.j.html
施設概要	<p>山城水文試験地は、森林総合研究所が森林の二酸化炭素呼吸量の把握と炭素循環メカニズムの解明に向けて設立した、全国6ヶ所の試験地のうちの1つです。これらの試験地は、「森林総合研究所フラックス観測ネットワーク(FFPRI FluxNet)」としてネットワーク化されています。FFPRI FluxNet は、Japan Flux、AsiaFlux に参画しており、日本(アジア)の森林生態系において継続的な観測研究を行うグループとして貢献しています。</p> <p>山城水文試験地は、京都府南部の木津川源流域にある標高 180~255m の傾斜の多い複雑地形の森に位置し、コナラやソヨゴを中心とした、平均樹高約 15m の暖温帯性の落葉広葉樹林が広がっています。尾根側には高さ26.5m(写真a)、谷側には高さ35m(写真b)の気象観測タワーが設置されており、森林群落の二酸化炭素収支、エアロゾル、生物起源の揮発性有機化合物等の測定が行われています。また、尾根側のタワーには高さ約 10m の仮設足場(写真c)が隣接し、蒸散速度や、樹冠の葉の光合成等が測定されています。林床では、リタートラップや自動チャンバー、樹液流速測定装置等が設置され、二酸化炭素量の測定や土壌環境の研究、細根や微生物、菌類等の生態学的調査が実施されています。</p>	
施設・測器	フラックスタワー(2基)、植物調査用仮設足場、各種気象観測測器、土壌呼吸量測定用チャンバー、樹液流速測定装置等	
観測項目	気象観測、CO ₂ フラックス、生態系観測(光合成、呼吸、炭素収支等)	
観測データ	各種気象データ、CO ₂ フラックスデータ等は、FFPRI FluxNet データベース上で公開されています。観測データ利用の際には、利用申請が必要になります(詳細は下記 URL 参照)。 (http://www2.ffpri.affrc.go.jp/labs/flux/data.j.html) (注)	
共同利用	試験地内での観測や、観測測器の設置を希望される方は、まずは担当者にご連絡下さい(上記「施設情報」URL 参照)。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・試験地近辺は以前砂防工事が行われたことから、歴史公園としても住民に利用されています。 ・気象観測タワーには、サーモグラフが設置され、樹冠の葉表面温度の測定や、森林変化のモニタリングが行われる予定です。 	

(注) ページが閲覧できない場合には、上記「施設情報」内の URL をご参照下さい。 更新日: 2015年7月7日

